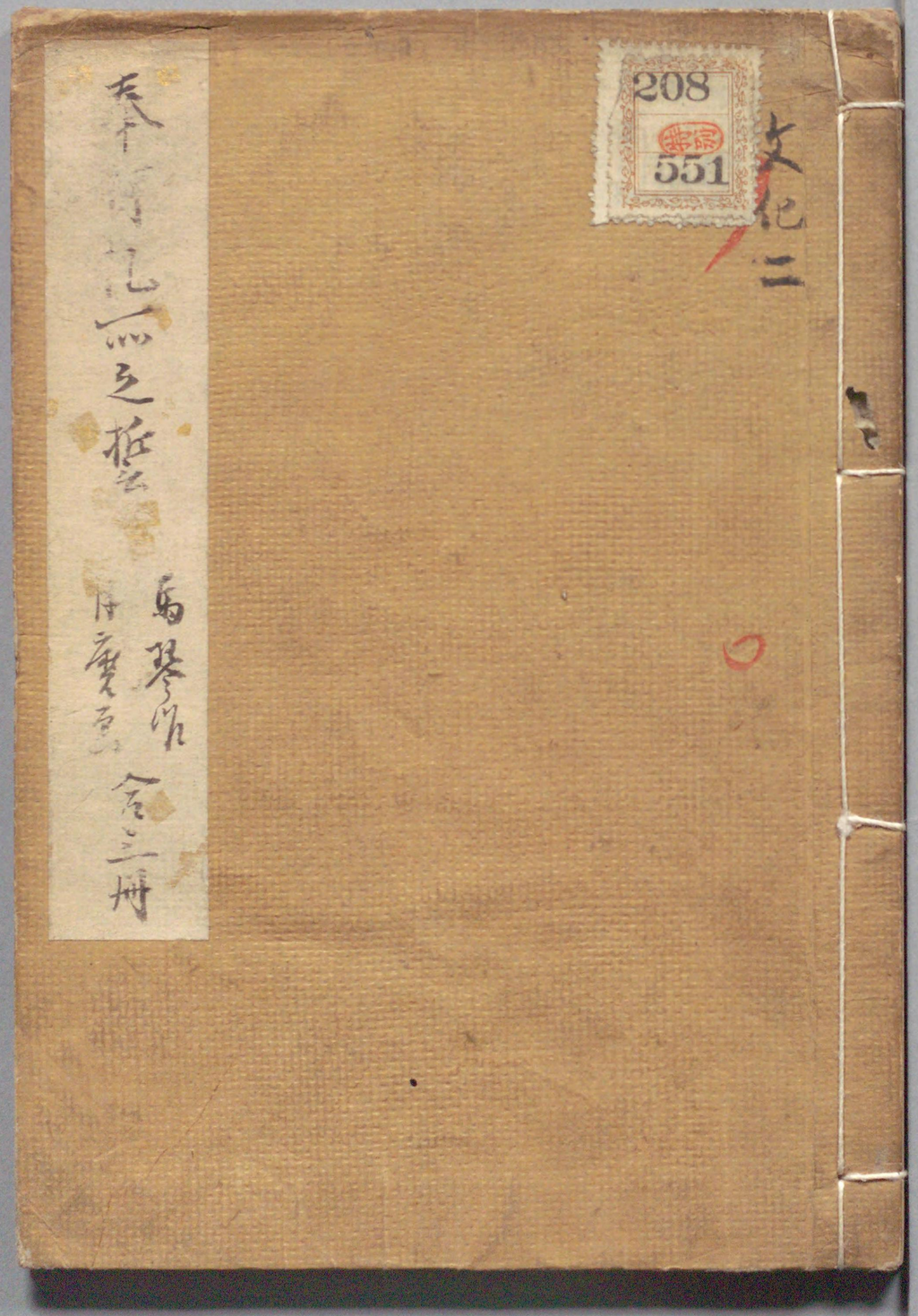


国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

二代目しうちそまりふぐ志ーのちひいき

再度讐歌　奉打札所誓序

曲亭馬琴記

去歳林鐘予扁舟ふ棹ーに墨水の濱ゑ納涼を。夏日漸傾暮

浅草寺の鐘帰路を促せり遂ふ舟を棄陸を走て行

金龍山下ゑ到る時ゑ骨董店上ゑ個小冊あるを見る。廼買

得て携乃ち更ふこれを校正し。画者ゑ就て繪像を

灰聞近曽復雑書の小説頗雅衆の爲ゑ賞せらるゝ者れ

ども寸楮の冊子。語を成ー文を下をふとも也。予敢て

これらのゝを記をふ心なーとゝいへども。書ーの愚默正がたく

ゝ多くゝの笑面あり。閲者覆醬の看をおそれるゝことを

文化二年乙丑ゝ春孟無著作堂ゑ題を

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551
ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

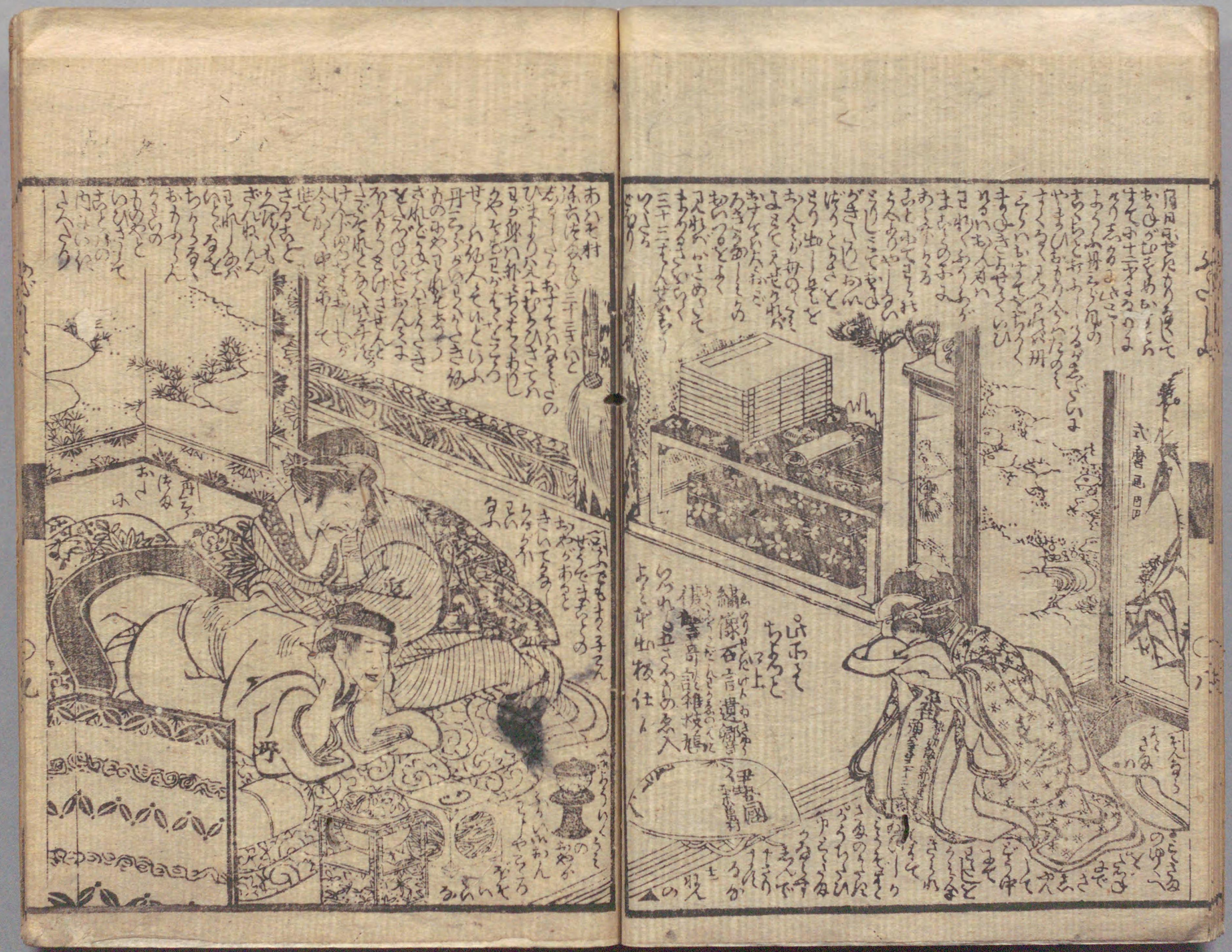
ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用



国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

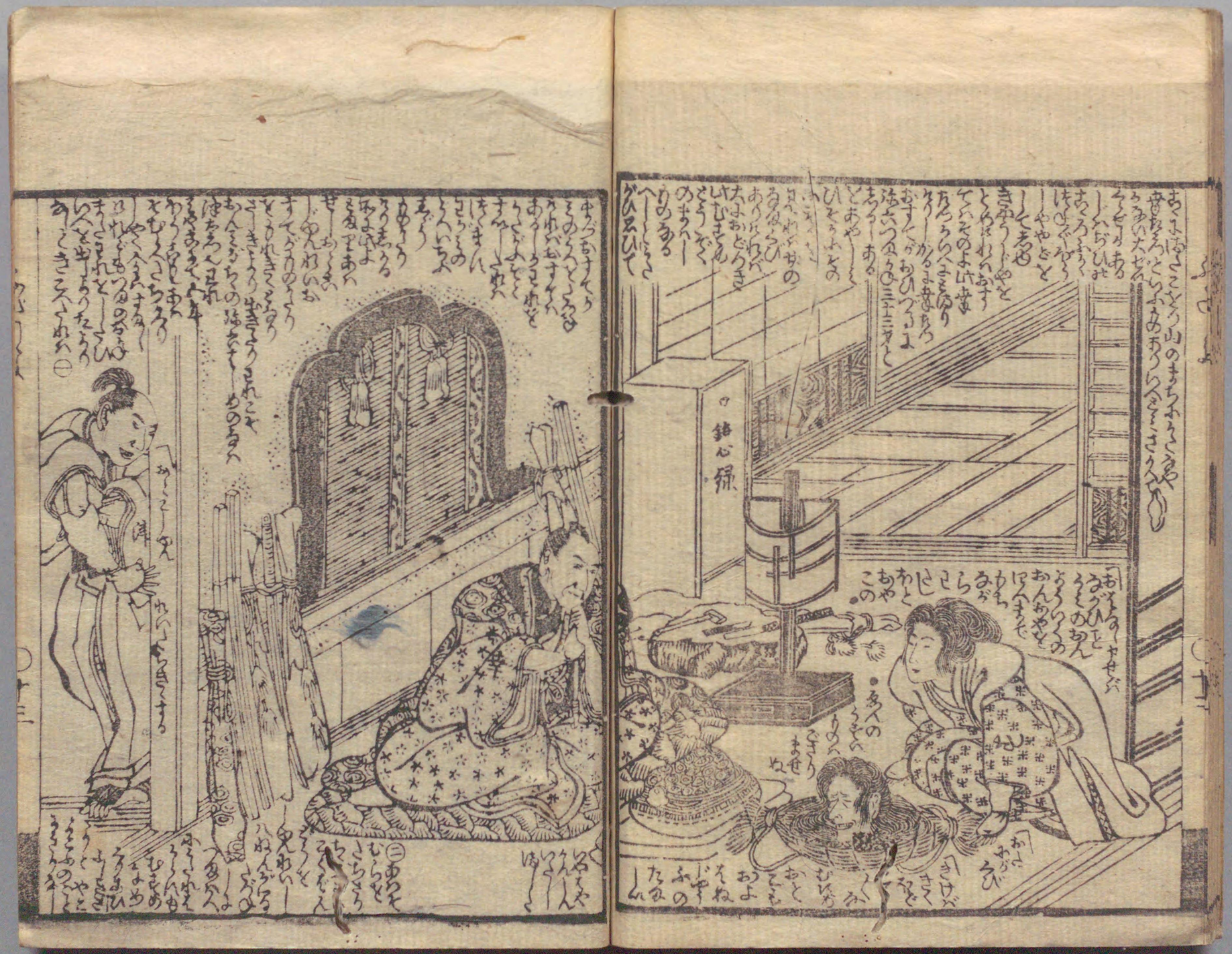
ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

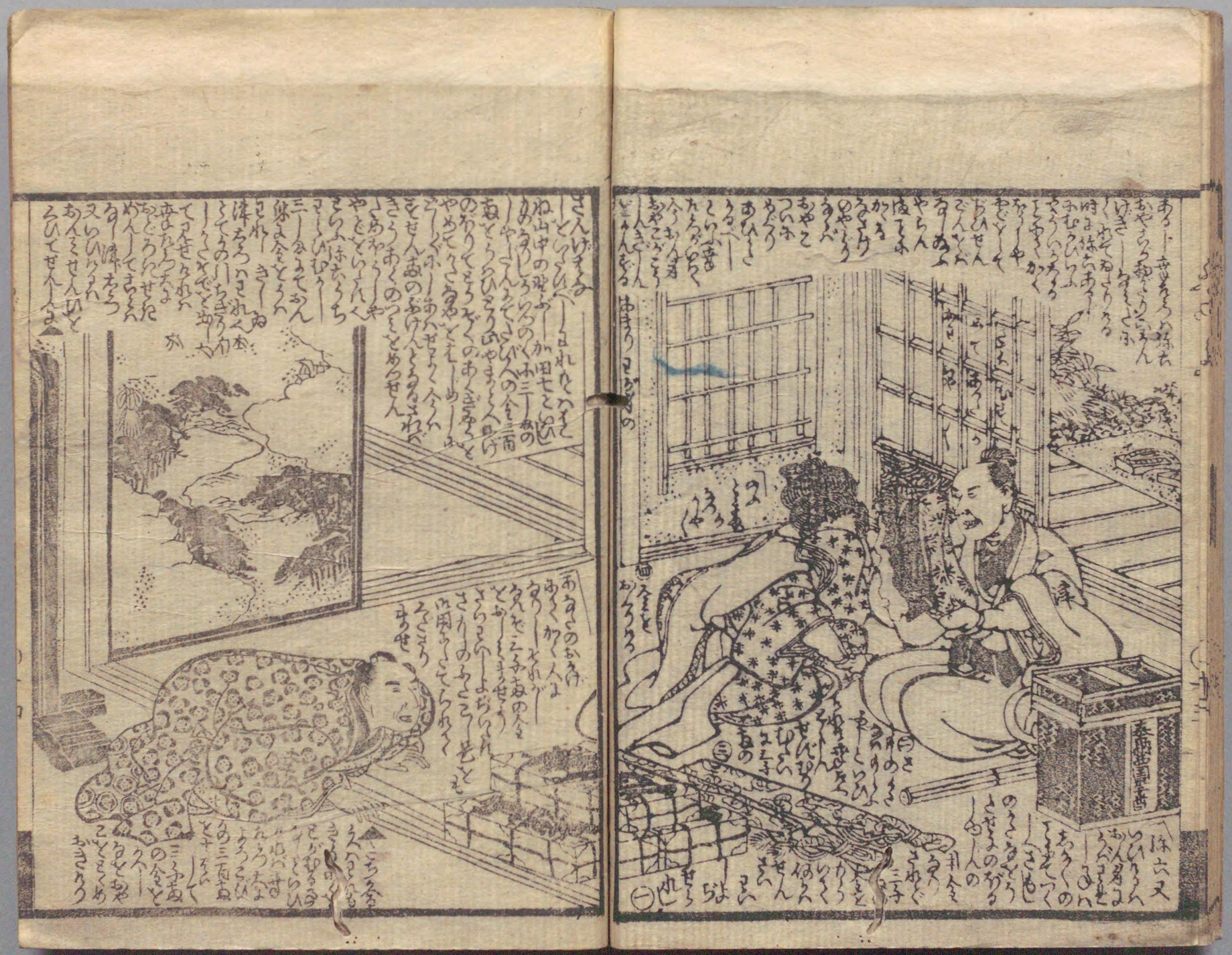
国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用



国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用



国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

半澆半開臨野
岸園情園思婿
部光　佳末錄圖

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用

208
551

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551
ガラス使用

国立国会図書館　奉打札所誓 3巻 208-551

ガラス使用